

メキシコ債券ファンド (資産成長型)

【愛称:ラ・バンバ】

【運用報告書(全体版)】

(2020年2月27日から2021年2月26日まで)

第 8 期

決算日 2021年2月26日

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2013年3月8日から2023年2月27日まで
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主としてメキシコの債券等に投資し、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 メキシコ・ボンド・ファンド (アキュムレーションクラス) メキシコの債券等 マネー・オープン・マザーファンド 円貨建ての短期公社債および短期金融商品

当ファンドの運用方法	■主として、メキシコの債券等に投資することにより、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指します。 ■原則として対円での為替ヘッジは行いません。 ■実質的な運用は、現地の債券運用に強みを持つブラックロック・メキシコが行います。
------------	---

組入制限	■外貨建資産への直接投資は行いません。
------	---------------------

分配方針	■年1回(原則として毎年2月26日。休業日の場合は翌営業日)決算を行い、分配金額を決定します。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みます。)等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
------	---

複利効果による信託財産の成長を優先するため、分配を極力抑制します。
(基準価額水準、市況動向等によっては変更する場合があります。)

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、主としてメキシコの債券等に投資し、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1
<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976
受付時間:午前9時~午後5時(土、日、祝・休日を除く)

メキシコ債券ファンド（資産成長型）【愛称：ラ・バンバ】

■ 最近5期の運用実績

決算期	基準価額			債券組入比率	投資信託証券組入比率	純資産額
	(分配落)	税込分配金	期中騰落率			
	円	円	%	%	%	百万円
4期(2017年2月27日)	7,924	0	△ 8.5	0.2	94.9	1,433
5期(2018年2月26日)	8,358	0	5.5	0.3	94.9	1,088
6期(2019年2月26日)	8,605	0	3.0	0.3	94.0	913
7期(2020年2月26日)	9,786	0	13.7	0.4	95.0	860
8期(2021年2月26日)	9,200	0	△ 6.0	0.6	93.7	666

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		債券組入比率	投資信託証券組入比率
		騰落率		
(期首)	円	%	%	%
2020年2月26日	9,786	—	0.4	95.0
2月末	9,522	△ 2.7	0.4	94.9
3月末	7,485	△23.5	0.6	94.7
4月末	7,404	△24.3	0.6	90.7
5月末	8,520	△12.9	0.1	94.7
6月末	8,352	△14.7	0.1	90.8
7月末	8,585	△12.3	0.1	95.2
8月末	8,669	△11.4	0.5	90.3
9月末	8,520	△12.9	0.5	90.6
10月末	8,760	△10.5	0.5	90.4
11月末	9,379	△ 4.2	0.5	94.6
12月末	9,603	△ 1.9	0.5	90.5
2021年1月末	9,491	△ 3.0	0.5	88.7
(期末)				
2021年2月26日	9,200	△ 6.0	0.6	93.7

※騰落率は期首比です。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

1 運用経過

基準価額等の推移について(2020年2月27日から2021年2月26日まで)

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期首	9,786円
期末	9,200円 (分配金0円(税引前)込み)
騰落率	-6.0% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

基準価額の主な変動要因（2020年2月27日から2021年2月26日まで）

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主として、メキシコの債券等に投資しました。また、対円での為替ヘッジは行いませんでした。

上昇要因

- メキシコ銀行（中央銀行）の利下げなどを受け、メキシコ債券市場が上昇したこと

下落要因

- 期を通してみれば、メキシコペソが対円で大幅に下落したこと

組入れファンドの状況

組入れファンド	投資資産	期末組入比率
メキシコ・ボンド・ファンド(アキュムレーションクラス)	外国債券	93.7%
マネー・オープン・マザーファンド	短期金融資産	0.7%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

投資環境について（2020年2月27日から2021年2月26日まで）

当期のメキシコ債券市場は上昇しました。為替市場ではメキシコペソは対円で大幅に下落しました。

債券市場

メキシコ国債利回り（10年国債）は新型コロナウイルスの感染拡大を背景に投資家のリスク回避姿勢が強まり、期初より3月の中旬にかけて大きく上昇（債券価格は下落）しました。しかしその後は各国中銀による金融緩和策や、各国政府の財政政策を背景に投資家のリスク回避姿勢が後退し、8月にかけて利回りは低下基調となりました。

その後欧州での感染拡大懸念などから10月にかけて利回りは上昇しましたが、11月以降は、ワクチンや米財政政策への期待から年初にかけて利回りは再び低下基調となりました。1月から期末にかけては米国国債利回りの上昇と株安を受けてメキシコ国債利回りも上昇しました。

通期ではメキシコ国債利回りは低下しました。メキシコ銀行の積極的な利下げも国債利回りの低下要因となりました。メキシコ銀行は2020年3月から21年2月にかけて断続的に利下げし、期初の7.0%から期末では4.0%まで政策金利を引き下げました。

当期のJPモルガン・GBI-EMブロードメキシコインデックス（現地通貨ベース）は、期首に比べて8.8%上昇しました。

為替市場

当期のメキシコペソは対円で下落しました。期初より4月下旬にかけては、新型コロナウイルスの感染拡大が世界経済に大きな悪影響を与えるとの懸念から投資家のリスク回避姿勢が強まり、メキシコペソは対円で大きく下落しました。その後は、期末まで、欧米諸国、特に経済的な結びつきが強い米国における経済活動の正常化の動きや、原油価格が上昇したこと、ワクチンの普及期待などがサポート材料となり、メキシコペソは円に対して上昇基調で推移しました。

当期のメキシコペソ・円は、期首5円77銭から期末5円08銭と0円69銭のメキシコペソ安・円高となりました。

ポートフォリオについて(2020年2月27日から2021年2月26日まで)

当ファンド

「メキシコ・ボンド・ファンド(アキュムレーションクラス)」を高位に組み入れることにより主としてメキシコの債券等に投資しました。また「マネー・オープン・マザーファンド」への投資を通じて安定した収益の確保を目指した運用を行いました。

メキシコ・ボンド・ファンド(アキュムレーションクラス)

期初は新型コロナウイルスの感染拡大の影響が未知数で不透明であったことなどから、デュレーション(投資資金の平均回収期間)は短めにし、保守的な運用をしました。その後

は世界的な金融緩和で投資家のリスク選好の姿勢が強まると考え、デュレーションはやや長めとする運用を行いました。期末にかけて再びより短中期の国債にポジションを振り向けました。

当期もメキシコの国債と社債に投資しましたが、不透明な投資環境の中で、より流動性の高い、国債の比率を引き上げ、社債の比率を引き下げました。

マネー・オープン・マザーファンド

主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指した運用を行いました。

ベンチマークとの差異について(2020年2月27日から2021年2月26日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

分配金について(2020年2月27日から2021年2月26日まで)

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第8期
当期分配金	-
(対基準価額比率)	(-%)
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	461

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。
 ※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

当期の分配は、複利効果による信託財産の成長を優先するため、見送りと致しました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

2 今後の運用方針

当ファンド

引き続き「メキシコ・ボンド・ファンド(アキュムレーションクラス)」を高位に組み入れることにより主としてメキシコの債券等に投資します。

メキシコ・ボンド・ファンド(アキュムレーションクラス)

当期は新型コロナウイルスの感染拡大が世界経済に大きな影響を与え、世界的に金融緩和が実施されました。メキシコでも中央銀行が積極的に利下げを行い、経済を下支えしてきました。メキシコでは政府がコロナ対策としての財政支出に消極的で、今後もその姿勢は変わらないと予想されます。メキシコ銀行は今後も緩和的な環境を維持するとみていますが、既に利下げサイクルの後半に入ってい

ると考えており、今年6月までにもう一度0.25%の利下げを行い、政策金利を3.75%にするとみています。

ファンドではイールドカーブ(利回り曲線)の長期ゾーンの魅力は乏しいと考え、長期国債のオーバーウェイトを削減しました。足元のインフレ率の動向や市場環境を勘案し、機動的にデュレーションを調整していく方針です。

社債に関しては、現状程度の組入れを維持します。

(2021年2月26日時点)

マネー・オープン・マザーファンド

円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。

3 お知らせ

約款変更について

該当事項はございません。

投資対象ファンドの副投資顧問会社変更について

当ファンドが投資対象とする外国投資信託「メキシコ・ボンド・ファンド(アキュムレーションクラス)」の副投資顧問会社が以下の通り変更されました。

	変更前	変更後
投資顧問会社	シティグループ・ファースト・インベストメント・マネジメント・リミテッド	(変更ありません)
副投資顧問会社	<u>アクシオネス・イ・バローレス・バナメックス</u> (Acciones y Valores Banamex S.A. de C.V., Casa de Bolsa)	<u>ブラックロック・メキシコ</u> (BlackRock México Operadora, S.A. de C.V., Sociedad Operadora de Fondos de Inversión)

(変更日：2020年9月22日)

■ 1万口当たりの費用明細(2020年2月27日から2021年2月26日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	96円	1.100%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数/年日数)
(投信会社)	(26)	(0.297)	投信会社：ファンド運用の指図等の対価
(販売会社)	(67)	(0.770)	販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(3)	(0.033)	受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	1	0.009	その他費用＝期中のその他費用/期中の平均受益権口数
(監査費用)	(1)	(0.008)	監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用
(その他)	(0)	(0.001)	その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合計	97	1.109	

期中の平均基準価額は8,690円です。

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

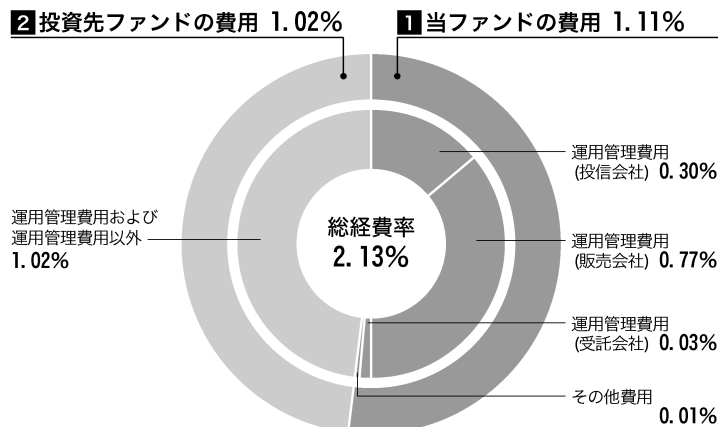
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の費用は後掲の「包括利益計算書」をご覧ください。

参考情報 総経費率（年率換算）



総経費率(①+②)	2.13%
①当ファンドの費用の比率	1.11%
②投資先ファンドの費用の比率	1.02%

メキシコ債券ファンド（資産成長型）【愛称：ラ・バンバ】

- ※**1**の各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値（小数点以下第2位未満を四捨五入）です。「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。
- ※**2**の投資先ファンド（当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く））の費用は、実際に投資しているシェアクラスのデータが入手できない場合は、入手可能なファンド全体のデータをもとに委託会社が計算したものです。運用管理費用と運用管理費用以外の費用を明確に区別できない場合は、まとめて表示しています。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。
- ※**1**と**2**の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。
- ※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率（年率）は2.13%です。

■ 当期中の売買及び取引の状況（2020年2月27日から2021年2月26日まで）

投資信託証券

		買 付		売 付	
		口 数	買 付 額	口 数	売 付 額
国内	メキシコ・ボンド・ファンド (アキュムレーションクラス)	口	千円	口	千円
		154,046,207	136,500	304,505,629	284,900
合 計		154,046,207	136,500	304,505,629	284,900

※金額は受渡し代金。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

■ 利害関係人との取引状況等（2020年2月27日から2021年2月26日まで）

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 （2020年2月27日から2021年2月26日まで）

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

メキシコ債券ファンド（資産成長型）【愛称：ラ・バンバ】

■ 組入れ資産の明細(2021年2月26日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	期首(前期末)	期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	組 入 比 率
	口	口	千円	%
メキシコ・ボンド・ファンド (アキュムレーションクラス)	780,950,713	630,491,291	624,249	93.7
合 計	780,950,713	630,491,291	624,249	93.7

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

(2) 親投資信託残高

種 類	期首(前期末)	期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
マネー・オープン・マザーファンド	4,997	4,997	4,990

※マネー・オープン・マザーファンドの期末の受益権総口数は72,873千口です。

※単位未満は切捨て。

■ 投資信託財産の構成

(2021年2月26日現在)

項 目	期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	624,249	93.0
マネー・オープン・マザーファンド	4,990	0.7
コール・ローン等、その他	41,854	6.3
投資信託財産総額	671,093	100.0

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

メキシコ債券ファンド（資産成長型）【愛称：ラ・バンバ】

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2021年2月26日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	671,093,038円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	41,853,106
投資信託受益証券(評価額)	624,249,427
マネー・オープン・マザーファンド(評価額)	4,990,505
(B) 負 債	5,072,019
未 払 解 約 金	1,015,754
未 払 信 託 報 酬	4,028,021
未 払 利 息	108
そ の 他 未 払 費 用	28,136
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	666,021,019
元 本	723,917,570
次 期 繰 越 損 益 金	△ 57,896,551
(D) 受 益 権 総 口 数	723,917,570口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C/D)	9,200円

※当期における期首元本額879,318,794円、期中追加設定元本額2,630,492円、期中一部解約元本額158,031,716円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ 分配金のお知らせ

1 万 口 当 た り 分 配 金 (税 引 前)	当 期
	- 円

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

■ 損益の状況

(自2020年2月27日 至2021年2月26日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 39,137円
支 払 利 息	△ 39,137
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△34,161,876
売 買 損 益	6,799,456
売 買 損 益	△40,961,332
(C) 信 託 報 酬 等	△ 8,019,620
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	△42,220,633
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 11,919
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△15,663,999
(配 当 等 相 当 額)	(9,954,264)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△25,618,263)
(G) 計 (D + E + F)	△57,896,551
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	△57,896,551
追 加 信 託 差 損 益 金	△15,663,999
(配 当 等 相 当 額)	(9,954,267)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△25,618,266)
分 配 準 備 積 立 金	23,464,316
繰 越 損 益 金	△65,696,868

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※期末における、費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金(9,954,267円)および分配準備積立金(23,464,316円)より分配可能額は33,418,583円(1万口当たり461円)ですが、分配は行っておりません。

■ 組入れ投資信託証券の内容

投資信託証券の概要

ファンド名	メキシコ・ボンド・ファンド（アキュムレーションクラス）
形態	ケイマン籍外国投資信託（円建て）
主要投資対象	メキシコの債券等
運用の基本方針	主として、メキシコの債券等に投資し、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指します。メキシコペソ建て以外の債券等に投資する場合は、実質的にメキシコペソ建てとなるよう為替取引を行います。また、外貨建資産については、対円での為替ヘッジは行いません。
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> 投資信託証券への投資は純資産総額の5%以下とします。ただし、上場投資信託証券（ETF、REIT等）は除きます。 非流動性資産への投資は、取得時において純資産総額の15%以下とします。
決算日	原則として毎年10月31日
分配方針	毎年2月15日（休業日の場合は前営業日）に分配を行う方針。ただし、分配を行わないことがあります。
運用報酬等	純資産総額に対して年0.64%* *年間最低報酬額等が定められている場合があるため、純資産総額によっては、上記の料率を上回ることがあります。
管理およびその他の費用	ファンドの設立費用、取引関連費用、法的費用、会計・監査および税務上の費用ならびにその他の費用を負担します。 その他の費用・手数料については、ファンドの運営状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。
申込手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。
投資顧問会社	シティグループ・ファースト・インベストメント・マネジメント・リミテッド
副投資顧問会社	ブラックロック・メキシコ（BlackRock México Operadora, S. A. de C. V., Sociedad Operadora de Fondos de Inversión）
購入の可否	日本において一般投資者は購入できません。

以下には、「メキシコ・ボンド・ファンド（アキュムレーションクラス）」をシェアクラスとして含む「メキシコ・ボンド・ファンド」の情報を委託会社において抜粋・要約して翻訳したものを記載しています。

■ 包括利益計算書(2018年11月1日から2019年10月31日まで)

	(千円)
損益を通じて公正価値評価される金融資産による受取利息	188,648
実効金利法を用いて算出された受取利息	3
損益を通じて公正価値評価される金融商品にかかる純利益	267,883
純為替差損	(1,848)
利益合計	<u>454,686</u>
管理報酬	(13,885)
事務代行、名義書換代理人および保管報酬	(1,786)
監査報酬	(3,841)
専門家報酬	(5,931)
雑費	(65)
受託報酬	(1,109)
支払利息	(54)
財務諸表作成費用	(424)
営業費用合計	<u>(27,095)</u>
税引前および金融費用控除前営業利益	427,591
受益証券保有者への分配金	(292,281)
税引前利益	135,310
源泉徴収税	(3,235)
営業による受益証券保有者に帰属する純資産の変動額および当期包括利益合計	<u>132,075</u>

メキシコ債券ファンド（資産成長型）【愛称：ラ・バンバ】

■ 組入銘柄

(2019年10月31日現在)

銘柄名	債券種別	利率	償還日	組入比率
MEXICAN BONOS MBONO 7 1/2 06/03/27	国債	7.50%	2027/6/3	14.2%
MBONO 8.5% 31MAY2029	国債	8.50%	2029/5/31	12.1%
BBVA BANCOMER SA BBVASM 7.83 08/24/20	社債	7.83%	2020/8/24	7.1%
SCOTIAB 13-2	社債	7.30%	2023/6/16	7.0%
MEXICAN BONOS MBONO 7 3/4 11/13/42	国債	7.75%	2042/11/13	6.9%
MBONO 10% 05DEC2024	国債	10.00%	2024/12/5	6.6%
MBONO 8.5% 18NOV2038	国債	8.50%	2038/11/18	5.6%
MEXICAN BONOS MBONO 8 11/07/47	国債	8.00%	2047/11/7	5.4%
MEXICAN BONOS MBONO 7 3/4 05/29/31	国債	7.75%	2031/5/29	5.0%
EL PUERTO LIVERP LIVEPL 8.53 05/19/20	社債	8.53%	2020/5/19	3.9%
MBONO 10% 20NOV2036	国債	10.00%	2036/11/20	3.7%
PETROLEOS MEXICA PEMEX 9.1 01/27/20	社債	9.10%	2020/1/27	3.5%
TOYOTA17-3	社債	7.87%	2022/8/29	3.5%
MEXICAN BONOS MBONO 7 3/4 11/23/34	国債	7.75%	2034/11/23	3.3%
KIMBERLY-CLA MEX KCMA 7.17 10/29/20	社債	7.17%	2020/10/29	2.8%
ARCAMZ 5.88% 10MAR2023	社債	5.88%	2023/3/10	2.4%
MEXICAN BONOS MBONO 5 3/4 03/05/26	国債	5.75%	2026/3/5	2.2%
GPO AEROPUER CEN GACENO 6.85 06/07/21	社債	6.85%	2021/6/7	1.9%
MEXICAN BONOS MBONO 8 09/05/24	国債	8.00%	2024/9/5	1.6%
EMBOTELLAD ARCA ARCAMX 7.74 11/13/20	社債	7.74%	2020/11/13	1.2%

※比率はポートフォリオに対する割合です。

※シティグループ・ファースト・インベストメント・マネジメント・リミテッドからのデータ提供を受けて三井住友D Sアセットマネジメントが作成しています。

マネー・オープン・マザーファンド

第8期 (2019年3月2日から2020年3月2日まで)

信託期間	無期限 (設定日: 2012年7月27日)
運用方針	主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債券組入比率	純資産総額
	円	期中騰落率		
4期 (2016年3月1日)	10,025	0.0	83.9	75
5期 (2017年3月1日)	10,016	△0.1	69.8	75
6期 (2018年3月1日)	10,009	△0.1	72.4	75
7期 (2019年3月1日)	10,002	△0.1	72.4	75
8期 (2020年3月2日)	9,996	△0.1	74.9	75

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

■当期中の基準価額と市況等の推移

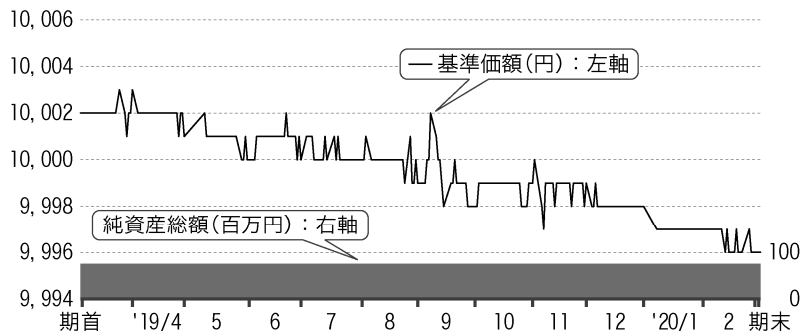
年月日	基準価額		債券組入率
	円	騰落率	
(期首) 2019年3月1日	10,002	—	72.4
3月末	10,003	0.0	72.4
4月末	10,001	△0.0	72.3
5月末	10,000	△0.0	75.1
6月末	10,000	△0.0	75.0
7月末	10,000	△0.0	75.0
8月末	9,999	△0.0	75.1
9月末	9,998	△0.0	75.0
10月末	9,999	△0.0	74.9
11月末	9,999	△0.0	74.9
12月末	9,998	△0.0	75.0
2020年1月末	9,997	△0.0	75.0
2月末	9,996	△0.1	74.9
(期末) 2020年3月2日	9,996	△0.1	74.9

※騰落率は期首比です。

1 運用経過

▶ 基準価額等の推移について (2019年3月2日から2020年3月2日まで)

基準価額等の推移



期首	10,002円
期末	9,996円
騰落率	-0.1%

▶ 基準価額の変動要因 (2019年3月2日から2020年3月2日まで)

当ファンドは、円建ての公社債および短期金融商品などへ投資しました。

下落要因

・日銀によるマイナス金利政策が継続され、主要投資対象である短期公社債や短期金融商品におけるマイナス利回りが続いたこと

▶ 投資環境について (2019年3月2日から2020年3月2日まで)

当期の短期金利は小幅に低下しました。

物価上昇率の伸びが徐々に鈍化したことから、日銀は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」政策を維持し、日銀当座預金の一部へのマイナス金利の付利を継続しました。短期国債利回りは、一時的な需給要因から上下に振れる局面もありましたが、日銀が需給動向を勘案しながら短期国債の買入れ額を調整したことから、概ねレンジ推移となりました。

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、日銀当座預金付利金利である-0.10%程度を上限に、マイナ

ス圏で推移しました。国庫短期証券3ヵ月物利回りは期首-0.180%に対し、期末は-0.199%と小幅に低下しました。

▶ ポートフォリオについて (2019年3月2日から2020年3月2日まで)

短期金利は低位での推移が継続するとの見通しから、残存0年から1年3ヵ月までの円建て公社債および短期金融商品で構築したポートフォリオを継続しました。また、マイナス利回りの影響を抑制することに配慮しながら、短期公社債の組入れを行いました。

▶ ベンチマークとの差異について (2019年3月2日から2020年3月2日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

2 今後の運用方針

2%の物価安定目標が展望出来ない中、日銀によるマイナス金利政策が継続され、短期国債利回りやコールローン（金融機関同士のごく短期の資金の貸借）翌日物金利など、主要投資対象である短期公社債および短期金融商品の利回りは引き続きマイナス圏での推移を想定します。

残存0年から1年3ヵ月までの公社債や短期金融商品で利回りのマイナス幅が小さい投資対象を選定し、マイナス利回りの影響を抑制することに配慮して運用を行います。

■ 1万口当たりの費用明細(2019年3月2日から2020年3月2日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) その他費用 (その他)	0円 (0)	0.005% (0.005)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合計	0	0.005	

期中の平均基準価額は9,999円です。

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

■ 当期中の売買及び取引の状況(2019年3月2日から2020年3月2日まで)

公社債

		買付額	売付額
国内	特殊債券	千円 42,518	千円 － (40,000)

※金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※()内は償還等による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

■ 利害関係人との取引状況等(2019年3月2日から2020年3月2日まで)

利害関係人との取引状況

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D	
			A	%			C	%
公社債	百万円 42	百万円 14		33.3	百万円 －	百万円 －		－

利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、SMB C日興証券株式会社です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況
(2019年3月2日から2020年3月2日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細 (2020年3月2日現在)

公社債

A 債券種類別開示

国内(邦貨建)公社債

区 分	期				末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
特 殊 債 券 (除 く 金 融 債)	56,000 (56,000)	56,277 (56,277)	74.9 (74.9)	— (—)	— (—)	— (—)	74.9 (74.9)
合 計	56,000 (56,000)	56,277 (56,277)	74.9 (74.9)	— (—)	— (—)	— (—)	74.9 (74.9)

※()内は非上場債で内書きです。

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※一印は組入れなし。

B 個別銘柄開示

国内(邦貨建)公社債

種 類	銘 柄	期 末			
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
		%	千円	千円	
特 殊 債 券 (除 く 金 融 債)	第5回 政府保証阪神高速道路債券	1.3	14,000	14,008	2020/3/18
	第107回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.3	14,000	14,046	2020/5/29
	第115回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.0	14,000	14,075	2020/8/31
	第124回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.2	14,000	14,147	2020/12/28
	合 計	—	56,000	56,277	—

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

■ 投資信託財産の構成

(2020年3月2日現在)

項 目	期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	56,277	74.9
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	18,877	25.1
投 資 信 託 財 産 総 額	75,154	100.0

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2020年3月2日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	75,154,786円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	18,650,857
公 社 債 (評 価 額)	56,277,900
未 収 利 息	189,668
前 払 費 用	36,361
(B) 負 債	264
未 払 利 息	40
そ の 他 未 払 費 用	224
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	75,154,522
元 本	75,182,674
次 期 繰 越 損 益 金	△ 28,152
(D) 受 益 権 総 口 数	75,182,674口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	9,996円

※当期における期首元本額75,182,674円、期中追加設定元本額0円、期中一部解約元本額0円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※期末における元本の内訳は以下の通りです。

アジア・ハイイールド債券ファンド毎月分配型(通貨アクティブヘッジコース)	8,100,949円
メキシコ債券ファンド(毎月分配型)	9,994,004円
メキシコ債券ファンド(資産成長型)	4,997,002円
日興エドモンドウ・ロスチャイルド・ラグジュアリーファンド	29,982,011円
SMB C・日興資産成長ナビゲーション	2,798,587円
アジア・ハイイールド債券ファンド毎月分配型(ヘッジなしコース)	29,944円
三井住友・グローバルC B戦略ファンド(為替ヘッジあり)	419,777円
三井住友・グローバルC B戦略ファンド(為替ヘッジなし)	299,837円
ダイナミック・マルチアセット戦略ファンド(為替ヘッジなし)	1,589,191円
ダイナミック・マルチアセット戦略ファンド(限定為替ヘッジ)	269,851円
あしぎん世界コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2016-02	619,672円
あしぎん世界コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2016-05	969,499円
りそな・ストラテジック・インカムファンド2016-05(為替ヘッジあり)	1,759,104円
りそな・ストラテジック・インカムファンド2016-05(為替ヘッジなし)	529,719円
りそな・ストラテジック・インカムファンド2016-09(為替ヘッジあり)	5,797,087円
りそな・ストラテジック・インカムファンド2016-09(為替ヘッジなし)	409,781円
あしぎん世界コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2016-09	1,039,466円
りそな・ストラテジック・インカムファンド2016-12(為替ヘッジあり)	5,027,477円
りそな・ストラテジック・インカムファンド2016-12(為替ヘッジなし)	549,716円

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ 損益の状況

(自2019年3月2日 至2020年3月2日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	679,998円
受 取 利 息	694,708
支 払 利 息	△ 14,710
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 721,640
売	△ 721,640
買	△ 721,640
(C) 信 託 報 酬 等	△ 3,664
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	△ 45,306
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	17,154
(F) 計 (D + E)	△ 28,152
次 期 繰 越 損 益 金 (F)	△ 28,152

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※信託報酬等には、保管費用等を含めて表示しています。

■ お知らせ

<約款変更について>

- ・委託会社の合併に伴う商号変更および電子公告アドレスの変更に対応するため、所要の変更を行いました。(適用日：2019年4月1日)